

異文化交流会 2025 アフリカへの旅

日時 2025/06/21 13:30～16:00

場所 にぎわい交流館 2 階

司会 グレゴリー・L・ロウ氏

講師 V.L.サリ氏 バルデ・イドリッサ氏 武村妃南氏

日進市国際交流協会 主催

異文化交流会2025 アフリカへの旅

★ 愛知学院大学ロウ先生と一緒に、
3人の方々から見た、アフリカのお話
(日本語と英語による)を楽しみましょう！
交流会も予定しています

2025.6.21(土)

場所 にぎわい交流館2階
時間 13:30～16:00
定員 40名
対象 中学生以上
参加費 300円

speakers

- 1 愛知学院大学 文学部教師・博士
V. L.サリ氏
「ウガンダ：アフリカの真珠」
- 2 名古屋商科大学
インターナショナルハイスクール教師・博士
バルデ・イドリッサ氏
「ガンビア：歴史、文化、そしてその先」
- 3 名古屋大学大学院生
武村 妃南氏
「アフリカで学んだこと」

司会 愛知学院大学 教授
グレゴリー・L・ロウ氏

Gregory Lewis Rohe アフリカ出身
愛知学院大学文学部グローバル英語学科 教授
国際交流センター 幹事、国際情報センター 部長

プログラム

- 講演① ウガンダ：アフリカの真珠
 - 講演② ガンビア：歴史、文化、そしてその先
 - 講演③ アフリカで学んだこと
 - ・ディスカッション
 - ・ティータイム
- * 矢印青 (ウガンダの位置)
- * 矢印オレンジ (ガンビアの位置)
- * 矢印紫 (マラウイの位置)

講演①

V.L.サリ氏 愛知学院大学文学部教師・博士



最初の講演は V.L.サリ氏による故郷ウガンダのお話でした。ウガンダの伝統的衣装の紹介からアフリカの真珠と評された美しい景色、国内における民族ごとの言語の違いなどなどあまり触れることの無い文化について現地の声としてお話いただきました。ウガンダの主食はバナナだそうです！

講演②

バルデ・イドリッサ氏 名古屋商科大学
インターナショナルハイスクール教師・博士



続いてはバルデ・イドリッサ氏によるガンビアという西アフリカの国についての講演。植民地時代を経て独立したガンビアの歴史や産業、文化（食、音楽、民族衣装など）について幅広くお話いただきました。

スライドに映るガンビア料理に参加者から「美味しそう！」といった声や「初めて見た」となじみのない料理に驚きの声があがりました。

講演③

武村妃南氏 名古屋大学大学院生



最後は NGO の一員としてマラウイで勤務された経験をもつ武村さんのお話でした。「カトリックの教えが教師の意思決定にどう影響しているのか」というウガンダでの研究内容の紹介、アフリカ2か国での経験を通しての国際協力の定義、という参加者自身が考えさせられるトピックに、皆が頭を使われていた様子でした。

国際協力とは現地のニーズに合わせた
住民主体の社会活動を応援
すること

～参加者の声～

- ・ アフリカに行きたくなった！！
- ・ 植民地時代の影響が随所に見られて感慨深かった
- ・ 豪華な講師陣による大学の授業のような講演で非常に楽しくアフリカの文化を学べた

参加された皆さんが楽しみながら異文化を知る機会になりました